

# 「主なしには何もできない」

あなたの中で自負心 — 高慢 — が煮えたぎり、自分をスーパーマンだと考え始めたなら、「いやだ！」と叫びを上げるときが訪れた証拠である。そうすれば、失敗を繰り返しながらも善を実行しつつ、この世の歩みを続け、神の子としての喜びを味わうことができるだろう。（鍛1054）

12月19日

イエスを知り、愛を込めてそのご生涯を見守ることがいかに必要であるかおわかりでしょう。聖書の中にイエスの伝記かその生涯の定義となるものはないかと何回も探してみました。そして読んでいくうちに、聖霊によって書かれた「方々を巡り歩いて人々を助け」という言葉が見つかりました。ご降誕からご死去に至るまで、地上でお過ごしになった間ずっと、イエスは「巡り歩いて人々を助けられた」のです。聖書には、「この方のなさったことはすべて、すばらしい」、何事をするにも最後まで完全にされた、中途半端なことはされず、しかも善いことしかなさらなかったとも書いてあります。

ところで私たちはどうすればよいのでしょうか。改めるべき点はないか振り返ってみましょう。私にはたくさんやり直すべきことがあります。私一人では善を行う力はありません。イエスご自身も「わたしを離れて

は、あなたがたは何もできない」と仰せになりました。ですから、神を愛する者に相応しい親密な語らいのうちに、聖母マリアを仲介者として、主の助けを願いましょう。各々の必要に応じて、皆さん方一人ひとりが祈るべきですから、私には、これ以上何も付け加えることはありません。勧めを差し上げているこの瞬間にも、心の中で多弁を弄することなく、この教えを私自身の惨めさに当てはめているのです。（知識の香16）